

開発品の概要

1 高出力L型浸漬ヒータ「AL HYPER L」 アル ハイパー エル

(1) 主な特長

① 約5倍の高出力を実現

一般的な浸漬ヒータ（最大出力：2kW程度、発熱部：250mm）は、発熱部よりも溶湯面が低くなった際に発熱部が露出し、断線の原因となりますが、本開発品はL型構造で発熱部を400mm確保できるため、一般的な浸漬ヒータの約5倍の10kWの加熱が可能となります。

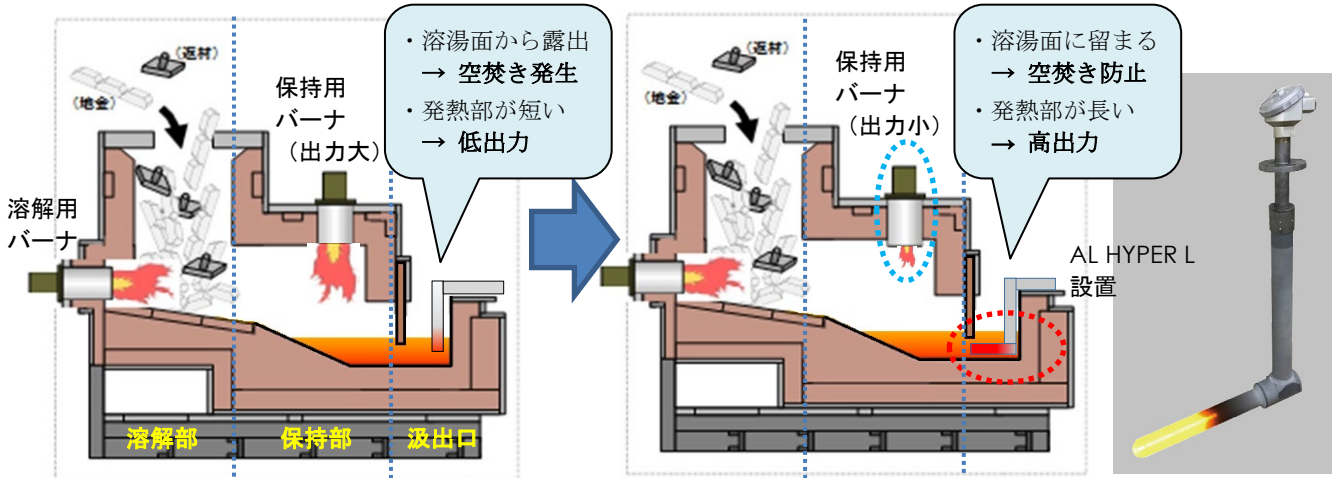
② 省エネ・省コスト・脱炭素化に貢献

保持炉のバーナと本開発品を併用することで、バーナのガス使用量を大幅に削減できます。大型の溶解保持炉（溶解量1t/h）では、保持部で約2割のエネルギー削減と約2割のCO2排出量の削減効果が期待できます。

③ 高いメンテナンス性

発熱線が断線した場合でも、発熱線だけを取換えることができる構造を開発したことにより、セラミックス保護管を再利用でき納期短縮とコスト低減を実現できます。

(2) 概要図・外観



※自動車部品工場等のアルミ casting 工程

- ① 非鉄金属を溶解用バーナで溶解
- ② 溶解した金属（溶湯）を保持用バーナやヒータで一定の温度に保持
- ③ 溶湯を汲み取り、鋳型に流し込む

(3) 仕様

商品名	AL HYPER L (アル・ハイパー・エル)
寸法	直径 60mm×長さ 600~1,000 mm (発熱部 250~400 mm)
出力	6~10 kW
材料	発熱線：ニクロム 充填材：(主成分) 酸化マグネシウム 保護管：(主成分) 窒化ケイ素セラミックス

2 超高出力浸漬ヒータ「AL HYPER MAX」^{アル ハイパー マックス}

(1) 主な特長

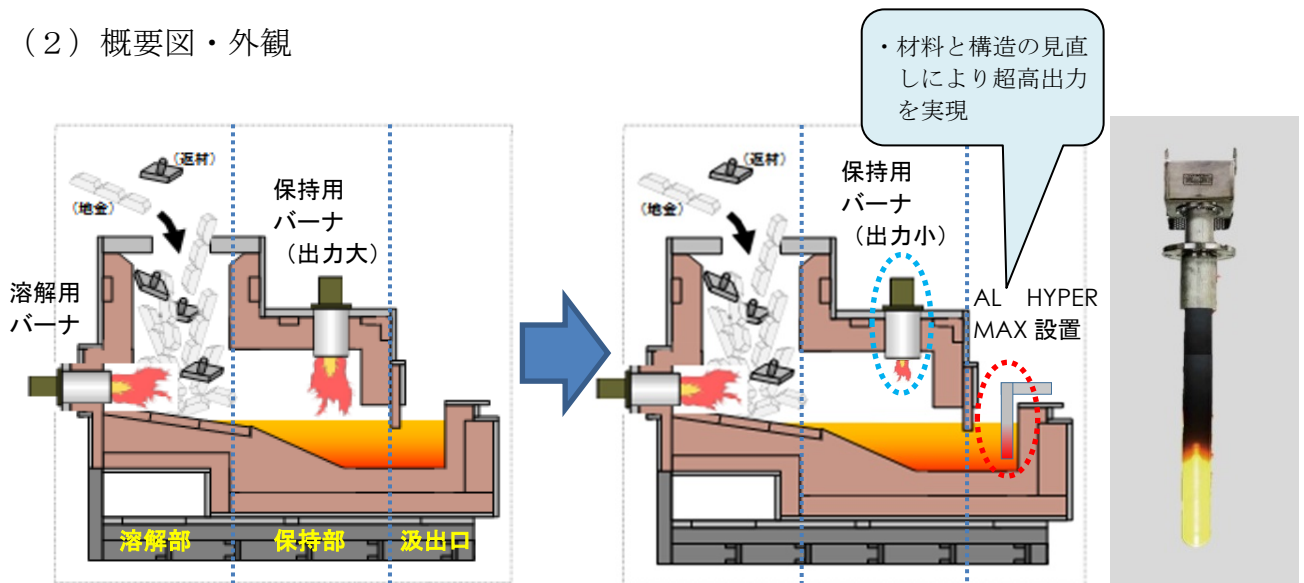
① 約 10 倍の超高出力を実現

発熱線材料と構造を見直したことにより、一般的な浸漬ヒータ（最大出力：2kW 程度）の約 10 倍の 20kW の超高出力加熱を実現しました。

② 省エネ・省コスト・脱炭素化に貢献

保持炉のバーナと本開発品を併用することで、バーナのガス使用量を大幅に削減して溶湯内で効率的に加熱することができます。大型の溶解保持炉（溶解量 1t/h）に本開発品を設置した場合、保持部で約 3 割のエネルギー削減と約 3 割の CO2 排出量の削減効果が期待できます。

(2) 概要図・外観



AL HYPER MAX の外観

(3) 仕様

商品名	AL HYPER MAX (アル・ハイパー・マックス)
寸法	直径 60mm×長さ 600~1,000 mm (発熱部 250 mm)
出力	20 kW
材料	発熱線：特殊金属 充填材：(主成分) 酸化マグネシウム 保護管：(主成分) 窒化ケイ素セラミックス

3 お客さまからのお問い合わせ先

中部電力ミライズ株式会社 法人営業本部 052-740-6928
株式会社ヤマト 鑄造事業部 072-339-5360

以上